



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月14日

上場会社名 ユーピーアール株式会社 上場取引所 東
コード番号 7065 URL <https://www.upr-net.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 酒田 義矢
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 市川 善教 TEL 03 (3593) 1728
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	11,241	13.3	685	70.8	996	11.7	631	14.0
2022年8月期第3四半期	9,920	2.1	401	3.7	892	35.9	554	38.8

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 653百万円 (14.9%) 2022年8月期第3四半期 568百万円 (41.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	82.46	—
2022年8月期第3四半期	72.35	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	20,967	8,375	39.6
2022年8月期	19,598	7,821	39.7

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 8,312百万円 2022年8月期 7,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期（予想）	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,900	11.8	910	71.0	1,150	3.2	750	10.1	97.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期3Q	7,660,000株	2022年8月期	7,660,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	480株	2022年8月期	480株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期3Q	7,659,520株	2022年8月期3Q	7,659,530株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行し、社会経済活動は正常化に向けて回復基調で進み、景気は緩やかな持ち直しの動きとなっております。一方で、世界的な原材料価格の高騰等による物価上昇や金利上昇が続く等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

物流業界においては、トラックドライバーの労働時間の上限規制強化まであと1年を切るなど、何も対策を講じなければ物流が停滞しかねないという、いわゆる「物流の2024年問題」に直面しております。物流の2024年問題に対応するため、政府は3月に第1回「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」を開催し、6月には、商慣行の見直し、物流の効率化、荷主・消費者の行動変容について、抜本的・総合的な対策をまとめた「物流革新に向けた政策パッケージ」を決定する等、労働時間改善に繋がる動きが本格化しています。物流の2024年問題が間近に迫る中において、長時間の荷待ちや契約外の荷役作業を軽減するため、バラ積み・バラ卸しの貨物をパレット化することが喫緊の課題であり、引き続きトラックドライバーの長時間労働の改善に繋がるパレット輸送、共同配送への関心は高まっており、輸送用レンタルパレットの需要は堅調に推移しました。保管用レンタルパレットについては、港湾地区を中心に倉庫の在庫水準は高い状況が続いており、季節性の返却も少ないため、稼働率は高い水準で推移しております。また、企業の物流拠点投資は継続しており、販売も好調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,241百万円（対前年同期比13.3%増加）、営業利益は685百万円（同70.8%増加）、経常利益は996百万円（同11.7%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は631百万円（同14.0%増加）となりました。

各セグメントの経営成績は次の通りであります。

（物流事業）

物流の2024年問題の期限が迫る中、政府は「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」を設置、またメディアにおいても物流の2024年問題について取り上げられることが増加するなど、各企業の物流に対する問題意識は、これまで以上に高まっております。トラックドライバーの長時間労働の削減に繋がるレンタルパレットを活用した共同利用、共同回収は引き続き関心が高まっており、当社の輸送用レンタルパレットを活用した家庭紙メーカーの共同利用・共同回収も順調に取扱量が拡大しております。パレット輸送化が進んでいない業界についてもアプローチを継続し、問い合わせも増加するなど、少しずつ進捗しています。保管用レンタルパレットについても、在庫の増加により需要が高まっていた港湾地区の冷蔵・冷凍倉庫は、季節性の返却も少なく需要が高い状況が継続しております。また、海外事業は概ね計画通り推移しました。物流IoTは、医薬品の高付加価値輸送（GDP）が貢献しております。アシストスーツは、高所作業用フルハーネス（2022年1月義務化）と一体化できるアシストスーツを中心に販売店展開を継続するとともに、介助用のケアタイプを中心に新しい業界への展開を行っております。

以上の結果、物流事業では、売上高10,418百万円（対前年同期比13.7%増加）、セグメント利益1,904百万円（同15.8%増加）となりました。

（コネクティッド事業）

ICTにおいて、遠隔監視ソリューションについては、通信規格変更に伴う、機器販売が順調に推移し、顧客の計画前倒しにより、引き続き機器販売数は計画を上回りました。DXタグに関しては、人流管理での受注や家畜管理での実証実験が行われており、今後は使用用途の拡大が見込まれます。カーシェアリングシステムについては、半導体不足による顧客のカーシェアリング車両の納車遅延が続いているものの、車載器販売は順調に推移しました。つくばでの自主事業についても会員数は順調に増加しています。

以上の結果、コネクティッド事業では売上高823百万円（対前年同四半期比8.6%増加）、セグメント損失128百万円（前年同期はセグメント損失79百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,331百万円となり、前連結会計年度末に比べ379百万円増加いたしました。これは主にその他の流動資産が211百万円増加したこと、及び現金及び預金が145百万円増加したことによるものであります。固定資産は14,636百万円となり、前連結会計年度末に比べ990百万円増加いたしました。これは主にレンタル資産増加に伴い有形固定資産が613百万円増加したこと、無形固定資産が284百万円増加したこと、及び投資その他の資産が92百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は20,967百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,369百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,557百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円増加いたしました。これは主にその他流動負債が127百万円増加したこと、及び賞与引当金が108百万円増加した一方で、未払法人税等が157百万円減少したことによるものであります。また固定負債は8,034百万円となり、前連結会計年度末に比べ756百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は12,592百万円となり、前連結会計年度末に比べ815百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,375百万円となり、前連結会計年度末に比べ554百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の業績予想につきましては、2023年4月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,158,785	3,304,280
受取手形及び売掛金	1,869,665	1,935,569
電子記録債権	136,556	132,338
商品	400,863	366,881
原材料及び貯蔵品	15,454	15,331
その他	375,578	586,661
貸倒引当金	△5,348	△9,862
流動資産合計	5,951,554	6,331,199
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	9,920,023	10,529,293
その他（純額）	2,590,361	2,594,233
有形固定資産合計	12,510,385	13,123,527
無形固定資産	443,785	728,703
投資その他の資産		
その他	704,261	796,278
貸倒引当金	△11,950	△11,950
投資その他の資産合計	692,311	784,328
固定資産合計	13,646,481	14,636,559
資産合計	19,598,036	20,967,759

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,927,974	1,777,265
1年内返済予定の長期借入金	1,535,284	1,617,752
未払法人税等	310,355	152,583
賞与引当金	224,514	332,853
役員賞与引当金	—	48,885
その他	500,942	628,625
流動負債合計	4,499,070	4,557,965
固定負債		
長期借入金	6,419,076	7,128,898
役員退職慰労引当金	551,014	560,064
退職給付に係る負債	287,832	324,826
資産除去債務	15,716	15,854
その他	4,263	4,796
固定負債合計	7,277,903	8,034,440
負債合計	11,776,973	12,592,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,000	96,000
資本剰余金	391,349	391,349
利益剰余金	7,290,795	7,822,861
自己株式	△923	△923
株主資本合計	7,777,221	8,309,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,183	2,858
為替換算調整勘定	△5,338	811
その他の包括利益累計額合計	△154	3,670
非支配株主持分	43,995	62,395
純資産合計	7,821,062	8,375,352
負債純資産合計	19,598,036	20,967,759

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年9月1日 至 2022年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年9月1日 至 2023年5月31日）
売上高	9,920,849	11,241,585
売上原価	6,885,432	7,603,680
売上総利益	3,035,417	3,637,905
販売費及び一般管理費	2,634,224	2,952,640
営業利益	401,193	685,265
営業外収益		
受取利息及び配当金	30	23
受取補償金	457,573	314,592
その他	60,799	36,062
営業外収益合計	518,402	350,677
営業外費用		
支払利息	26,923	27,908
その他	85	11,360
営業外費用合計	27,009	39,268
経常利益	892,586	996,674
特別利益		
固定資産売却益	215	216
特別利益合計	215	216
特別損失		
固定資産除却損	1,233	1,433
ゴルフ会員権評価損	3,740	—
特別損失合計	4,973	1,433
税金等調整前四半期純利益	887,828	995,457
法人税、住民税及び事業税	395,203	424,582
法人税等調整額	△74,828	△75,909
法人税等合計	320,375	348,672
四半期純利益	567,453	646,784
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,279	15,145
親会社株主に帰属する四半期純利益	554,173	631,639

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年9月1日 至 2022年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年9月1日 至 2023年5月31日）
四半期純利益	567,453	646,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,562	△2,325
為替換算調整勘定	7,062	9,404
その他の包括利益合計	1,499	7,079
四半期包括利益	568,952	653,864
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	552,221	635,463
非支配株主に係る四半期包括利益	16,730	18,400

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年9月1日 至 2022年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,162,768	758,080	9,920,849	—	9,920,849
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,162,768	758,080	9,920,849	—	9,920,849
セグメント利益又は損失(△)	1,644,702	△79,581	1,565,120	△672,533	892,586

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△672,533千円には、セグメント間取引消去△1千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△672,532千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年9月1日 至 2023年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,418,167	823,418	11,241,585	—	11,241,585
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,418,167	823,418	11,241,585	—	11,241,585
セグメント利益又は損失(△)	1,904,921	△128,383	1,776,538	△779,863	996,674

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△779,863千円には、セグメント間取引消去4千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△779,868千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。